

## タタラでディナープレート（高台付きたたら皿）

タタラの外周に沿って1センチの高台をつけ、その高台が縁になるというお皿です。外から見ると、すごく厚く見え、ディナープレートとしても使えそうです。ある程度大きいものの方がカッコよくできるので、仕上がりをどうするか考えて、土を選びましょう。大きめのタタラ皿を作るのはこの方法が一番良いのかもしれない。  
※例えばマヨリカ風にしたり、織部で緑にするのならば、再生白土がおすすめ。安いよ！



どんな形にするか考えて型紙を作りましょう。このプレートは、重ねられるので、複数枚でもOK。タタラの厚さは、8ミリ(5+3ミリ)推奨。



タタラをスライスしたら、表裏をなでます。荒い土でザラっとした感じを出すならば、なでなくてよい。型紙にあわせて切るときは、必ず新聞を敷いてやりましょう。ろくろの上だと切りやすいよ。



表に装飾を入れるなら、平の時の方がやりやすいので、最初にやっておきましょう。

- ①石で叩く ②松刀刃で段違いに筋をつける
- ③割木で筋をつける ④くつつける
- ⑤通常のハンコ等



高台を作ります。厚さが1センチになるようにタタラ板よりすこし短めに紐を作ります。それを立てて、1センチごとにスライスすると、きれいに簡単に高台部分ができます。



模様を描いた面が下になるようにひっくり返し、へりにキズをつけていきましょう。新聞紙をしいて、ろくろの上に乗せるとやりやすいよ。ドベをつけてくつつけます。



縁がきれいになるように、剣先でなでましょう。ドベが多すぎたら少し拭き取ってからやる方がやりやすい、指はあまり使わずに、剣先でやるとききちんとできます。



名前を忘れずに！また新聞をあててひっくり返し手で軽く押さえるか、板ごとトントンやれば、自然と真ん中がへこみ、ゆるやかなカーブになります。縁がかっこいいか確認して、完成！